



生田 政代
公明党
(40分)

中高年の引きこもり対策は

問 国は、半年以上にわたり家族以外とほとんど交流せず自宅にいたる40歳から64歳の引きこもりの人数を全国で61万3千人と推計した。国の推計を受けた本市の推計と支援の在り方は。

答 おおむね2千人程度と見込まれる。保健所等での相談内容に



奥 陽治
公明党
(40分)

中小企業への支援策は

問 中小企業支援から見た今年度の税制改正の受け止めは。

答 事業継承や事業継続、生産性向上等、中小企業者が抱える経営課題に適切に対応したもので、これらの周知を図り、より多くの事業者を利用され、中小企業者の活力向上につながるよう努める。

応じて支援を行っているが、ワンストップで一元的に相談を受ける窓口の早急な設置に向け検討する。

高齢者の移動手段の確保策は

問 服部学区での乗り合いタクシー導入に係る経緯は。

答 学区を運行するバス路線が運行形態の見直し要件に該当したため、乗り合いタクシー導入に向け運営委員会を立ち上げた。実証実験を行い、乗り合いタクシーが有効な移動手段になり得ると考え今後、実用化に向けて検討する。

地域包括ケアシステムの今後は

問 増加が見込まれる認知症高齢者等への支援は。

答 認知症高齢者の状況等を踏まえ、認知症地域支援推進員の増員を検討する。また、認知症が疑われる人の相談を受けて早期診断等につなぐ役割を担う認知症初期集中支援チームが、病院の受診に向けた調整等を行っている。その他、認知症の人や家族を見守る応援者を増やすための認知症サポート養成講座等に取り組んでいる。



宮本 宏樹
公明党
(40分)

マイナンバーカードの活用は

問 ①普及には利活用の推進が必要だが、今後の取り組みは。②マイナンバーカードを健康保険証として使用することで、市民サービスはどう向上するのか。

答 ①マイナンバーカードを活用した消費活性化策や、医療機関で健康保険証としての運用を開始



法木 昭一
市民連合
(7分)

今年の福山夏まつりの考え方は

問 今年度から2日間の開催となる福山夏まつりは、どのような考え方で取り組むのか。

答 福山夏まつりは、お盆と重なるため期間の短縮を望む声もあり、今年度は2日間で開催する。初日の8月14日は、いろは丸YOSAKOIと二上りおどり大会

することなどを盛り込んだ方針が国から示された。本市でも、マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付や電子申請手続きの拡充等に取り組んでいる。

②保険が国民健康保険から社会保険に変わっても医療機関や薬局での受診等が可能となり、窓口支払いが一定額までとなる限度額適用認定証等の提示も不要となる。その他にも、マイナポータルから医療費情報等を見ることが可能となる。

を、15日はあしだ川花火大会を開催する。いろは丸YOSAKOIと二上りおどり大会は、福山城天守閣前広場から新たに駅前大通りへ開会セレモニーや演舞の会場を移すこととした。

また、あしだ川花火大会は、昨年度「全国行ってよかった花火大会ランキング」で7位となるなど、知名度も向上しており、西日本有数の花火大会となるよう、演出のさらなる工夫等に取り組む。

